

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

堀 口 良 一

解 題

下に示す一覧表は、1919年5月4日から同年7月10日まで文部省東京教育博物館において開催された災害防止展覧会（宮崎 1992:115; 椎名 2002:181）で展示された出品物を出品者五十音順に整理したものである。出品物および出品者は『災難は避けられる』（培風館 1919）の記載（原文縦書き）に基づいた。

『災難は避けられる』は災害防止展覧会の解説書として刊行されたが、主催責任者であった棚橋源太郎によれば、同書において「今回の展覧会に出陳されたものの大部分は網羅されて居」（培風館 1919:序言3）るものの、どこまで完全に網羅されているかは不明である。しかしながら、当展覧会開催との関連で刊行された、もう一つの解説書である災害防止調査会編『日常生活災害防止法』（災害防止調査会 1919）所収の「付録 文部省教育博物館開催 災害防止展覧会出品目録」（203-210ページ）では、出品物は99点を数えるに過ぎず、『災難は避けられる』に記載されている出品物670点と比較すれば、過少な出品点数にとどまっている。『日常生活災害防止法』および『災難は避けられる』が、ともに当展覧会の「出品の解説、観覧案内報告等」（災害防止調査会 1919:棚橋序3）または「展覧会出品の解説、観覧案内、報告杯」（培風館 1919:序言2）を目的として刊行され、両者の印刷・発行日も近接している¹ことから考えると、この差が生じた理由は明らかでない。

いずれにせよ、『災難は避けられる』に記載漏れがないとは断言できないが²、それにもかかわらず『日常生活災害防止法』と比較すれば『災難は避けられる』のほうが格段に情報量として優れていることに変わりはない。

一覧表作成に当たり依拠した該当箇所は、次のとおりである。なお、『災難は避けられる』のページ数は第二篇以降、改めて1ページより始められているので、第二篇以降のページ数を示す場合、ページ数の直後にアステ

リスク(*)を付して区別した。

- 「疾病の予防及び手当に関する出品物」(培風館 1919: 36-39)
- 「傷害予防及手当に関する出品物」(培風館 1919: 59-61)
- 「被服に関する出品物」(培風館 1919: 68-69)
- 「食料食器に関する出品物」(培風館 1919: 78-79)
- 「建築に関する出品物」(培風館 1919: 81-84)
- 「玩具及び育児に関する出品物」(培風館 1919: 87)
- 「盗難予防に関する出品物」(培風館 1919: 99-101)
- 「火災予防及消防に関する出品物」(培風館 1919: 115-119)
- 「旅行及運動時に関する出品物」(培風館 1919: 137-138)
- 「迷信に関する出品物」(培風館 1919: 148)
- 「交通による災害防止に関する出品物」(培風館 1919: 30*-40*)
- 「風水害及び其の予防救済に関する出品物」(培風館 1919: 55*-58*)
- 「地震に関する出品物」(培風館 1919: 70*-72*)
- 「雷災に関する出品物」(培風館 1919: 80*)
- 「農業林業に関する出品物」(培風館 1919: 92*-94*)
- 「学校の災害防止に関する出品物」(培風館 1919: 103*-105*)
- 「軍隊の災害防止に関する出品物」(培風館 1919: 110*-111*)
- 「工場の災害に関する出品物」(培風館 1919: 121*-128*)
- 「鉱山の災害防止に関する出品物」(培風館 1919: 141*-145*)
- 「劇場の災害防止に関する出品物」(培風館 1919: 149*)
- 「生命保険に関する出品物」(培風館 1919: 154*)

また、この一覧を作成するに際して、次のような基準を立てて整理し直した。

1. 記載の順序

(1) 出品者

『災難は避けられる』の記載は展示の順序に従っていると推測されるが、定かでない。また、この順序で整理した場合、同一出品者の出品物を全体として把握することが困難である上、出品者数も容易に数えられないため、ここでは出品者五十音順に並べ替えた。

ただし、五十音順に並べ替える際に、「私立」の語句は無視した。また、出品者が同一であるにもかかわらず、出品者の名称表記が複数存在する場合、() 内に併記した。たとえば、「私立青山女学院」は別の箇所では「青山女学院」と表記されているので、「私立青山女学院 (青山女学院)」と併記した。

(2) 出品物

同一出品者における出品物の記載の順序は、『災難は避けられる』の記載の順序に従った。

2. 記載の表記

出品物および出品者の表記は、『災難は避けられる』の記載に従った。ただし、次の点に配慮した。

(1) 同一出品者が同一出品物を複数出品している場合、省略せず重複して記載した。たとえば、ヴォーリス合名会社が出品している「病院用模範戸」は、「疾病の予防及び手当に関する出品物」および「建築に関する出品物」に記載されているので、両方とも記載した。

(2) 出品物の表記は、出品物の名称に相当する各項目の文頭に記載されている部分をゴシック体で示し、補足説明に相当する小文字による表記または（ ）および「 」内に記載されている部分は明朝体で示した。

(3) 出品物の名称および補足説明に相当する部分で用いられている（ ）および「 」の括弧、＝および○の記号は、すべて原文のまま記載した。

(4) 片方の括弧の欠如や句読点の有無などの明らかな誤植・誤記は、適宜、改めた。

(5) 旧漢字や旧表記法は一部、改めた。

3. 出品物の数え方

『災難は避けられる』においては、出品者は（ ）に表示されているが、同一出品者の出品物を全て列挙したあとに表示しているわけではない。たとえば、「理髪用器具一式（私立明治理髪学校）消毒機、スチウム消毒法（同上）各種の髪油（同上）」などと記載し、出品者の表示が何らかの意味ある区切りとして使われている。そこで、この区切りを出品物のまとまりとみなし、この区切りごとに出品物の点数を数えた³。ただし、次の点に配慮した。

(1) 出品物の表記において、複数の物を表わしている場合、その数が明らかであるなしにかかわらず、すべて1点とした。たとえば、「疾病予防設備の例写真五枚」、「飲料水殺菌剤甲乙二種」などのように、出品物の個数が判明している場合でも、1点とした。逆に、「理髪用器具一式」、「各種の髪油」などのように、出品物の個数が判明していない場合も、すべて1点とした。

(2) 同一出品物に対して出品者が複数表示されている場合、表示されている出品者の数だけ出品物が出展されているとみなし、出品者ごとに同一出品物を記載した。たとえば、「救急用具（東京市教育会）（東京少年団）（東京電気株式会社）（東京高等師範学校附属中学校）」とある場合、4出品者が、それぞれ「救急用具」を出品したと解し、4者それぞれに「救急用具」を記載した。

(3) 出品物に通し番号を付した。

4. 引用者による注記

引用者による注記は、〔 〕内に補った。

災害防止展覧会（1919年）		
出品物（計670点）		出品者（計118） ⁴
1	安全衛生哺乳器	私立青山学院 私立青山女学院 (青山女学院)
2	来客用手洗器	
3	衛生安全哺乳器	
4	安全眼洗ひ器	
5	安全衛生哺乳器 円筒形の硝子器にゴム製の呑み口を付したる蓋をなす。	
6	寄宿舎用繩梯子	
7	同練習中の写真	
8	玄関に備付の来客用手洗器 来客が随意に使用する様水石鹼小形の手拭を備付く。	
9	家族用手洗器	
10	古代の行灯類数種	浅田吉太郎
11	松島瑞巖寺什宝火之用心掛板拓本	
12	同寺宝火鈴の図、行灯、カンテラ、六角提灯、翁灯、火打箱、小田原提灯	
13	安政大地震漫画錦絵、おどけばなし（地震雷火事親父）	
14	安政大地震地図、懷中朱黄礎	
15	落雷の版画	
16	蚊燻し銅器	浅田甚右衛門
17	放課時の運動より起る災害予防法額面	麻中尋常小学校
18	移吊環、遊動板、遊動円木、鞆鞆等鎖付	
19	運動具災害予防方法	
20	盗難にかからぬ建築模型 警視庁の注意書を具体的に示せり。	跡見女学校
21	盗難被害に対する犯行手口調 警視庁の調査表を図示す。	跡見女学校

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

22	盗難被害に対する犯行手口調表 各種手口中掻凌も多く又戸締なき表より窃盗の入れるもの之に次ぐ。	
23	安全掛針一	阿部彦四郎
24	折れ針入一 針山の下に漏斗形の折針容器を付したり。	
25	洗米器 回転摩擦により努力を要せず、短時間に塵芥土砂を流出す。	
26	おもゆとり アルミニウム製、飯炊の時、釜内に挿入すれば飯の炊上りと同時におもゆ <small>(マヌ)</small> か採れるもの。	
27	琺瑯引バケツ	
28	水混炉	
29	自在魚焼網	
30	警鈴電灯付手提金庫 蓋を開閉する都度又は置場を移動する毎に電鈴鳴り、蓋を開けば自動的に内部に電灯点火す。且つ錠前は任意に変更し得る文字合鍵なり。	
31	警鈴付安全金庫	
32	自働警報、丹式警錠、シグナル警錠	
33	締金具（フラン落し）（自在戸締金具）（差入捻）	
34	文字合錠（手箱用）、同上（南京錠門戸用）	
35	差込錠（襖、障子用）、同上（板戸用）	
36	隠し釘錠、箱錠（門戸用）	
37	三角暖炉 鑄鉄製、二重蓋被ひ、寝所及足暖炉用	
38	千代田火のし 顛倒するも火や灰を散乱せず、熱度を任意に加減し得。	
39	富貴鍍	
40	自働車瓦斯倫供給機 險防上の為ガソリンを容れたるタンクを地下四、五尺の所に据付く。	安全自働車株式会社

41	街路の危険 電線の切れたのに気を付けよ。暴風雨の後電柱と樹木に気を付けよ。急がば廻はれ。外出中でも妻子を考へよ、冒険は出来ぬ。三大危険即ち踏切り、曲り角、交叉点。バナナの皮を捨てた丈けでも沢山の従来人が怪我をする。車の後からソツ乗る様な悪戯はよせ。子守の油断と子供の怪我。路の曲り角ではお互に注意。時間をむだに費して居ながら馬鹿に急ぐあわて者。風雨の時は行く手に注意。子供を独りで往来に出すな。	安全第一協会
42	安政乙卯震災余聞	維新史料編纂事務局
43	地震及世態漫画集	
44	安政二年十月地震火事雷漫画集	
45	同地震火災戯画読売集	
46	諷刺行列付等	
47	外療一斑、救急指方、末代噺語掃寄草紙	
48	済急記事、増補救荒事宜、地震予防説	
49	雷、地震由来記、地震年代記、地震考	
50	大地震暦年考、江戸大地震当座見立三人生酔	
51	時世時節、鈴年代雜記、為火防、泰平国恩鏡	
52	洪水地震火災其他雜集、江戸大地震巨細録	
53	救荒便覧、災民千代の礎、火の用心、非常日用記	
54	鎮火用心集、鎮火心得集、鎮火用心車	
55	世直理草紙、安政五年面白草紙、安政見聞録	
56	大地震大津波末代噺の種、安政風聞集、地震要鎮手引草	
57	歩道独楽遊戯危険図	上野警察署
58	左右側反対通行危険図	
59	車馬道鬼ゴツコ危険図	
60	道路繩飛危険図	
61	道路通行標準図	
62	自転車規則違反者処罰件数表 無灯者最も多く長大過重物携帯者之に次ぐ。	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

63	荷車規則違反者処罰件数表 電車軌道を行進するもの最も多し。	
64	大正七年中下谷上野警察署管内車馬衝突場所一覧図 電車通に多し。	
65	上野警察署管内に於ける交通違反者件数表	
66	車馬衝突原因別表 諸車の避け方を誤りし者最も多く、諸車直前横断、疾走、右側行進順次之に次ぐ。	
67	東京市内に於ける諸車衝突累年比較表	
68	東京市内に於ける大正七年車馬衝突時間別表 午後二時より四時迄最も多し。	
69	電車直前横断危険図	
70	電車飛降危険図	
71	患者用寝具	ヴォーリス合名会社
72	同寢台	
73	患者用机	
74	電灯の笠 上向乳色。	
75	病院用模範戸〔疾病の予防及び手当に関する出品物〕 棧を省き消毒に便にす。	
76	病院用模範戸〔建築に関する出品物〕	
77	初生児四季の衣服、四揃 幼児の健康及び傷害予防に適當なる衣服の拵へ方見本を示す。	宇都野病院
78	印影検査機、付属電気抵抗器	梅津武雄
79	横田式安全灯 炭坑内用。	江戸商会
80	ウルフ型安全灯 炭坑内用。	
81	ウルフ鎧型安全灯 ^(ママ) 坑内用。	
82	ピラー式瓦斯試験灯 瓦斯の爆発程度を測量す。	
83	測量用安全灯	
84	注油器 安全灯に一定の分量に油を注入す。	
85	掃除器 安全灯の掃除をなす。	
86	修繕道具 安全灯の修繕をなす。	

87	電気磁石 安全灯の油壺を取りはなすに用ふ。	
88	馬蹄型磁石	
89	アセチリン灯 鉱山用。	
90	瓦斯試験器 瓦斯の有無を測定するに用ふ。	
91	金属発火器 安全灯点火器。	
92	船体間真額、同説明書額	大阪商船株式会社 ⁵
93	暴風警報信標 赤球（風強かるべし）赤円球（風雨強かるべし）赤円錐（暴風雨の虞あり）紅灯（夜間警標）	大阪税関
94	天気予報信号旗 天気用は方形の旗にて白（晴）赤（曇）青（雨）緑（雪）白々赤（晴一時曇）赤々白（曇一時晴）赤々青（曇少雨）白々緑（晴時々少雪）赤々緑（曇少雪）白々青（晴時々少雨）青緑（雨又は雪）を表はす。風向用は三角旗にて緑（東の風）青（西の風）赤（南の風）白（北の風）赤緑（南東の風）白緑（北東の風）赤青（南西の風）白青（北西の風）を表はす。	
95	製鎖材料切断中の写真	大阪製鎖所
96	切断せる材料を屈曲中の写真	
97	屈曲せる材料の開先作業中の写真	
98	リンク接合中の写真	
99	接合後スタットを挿入中の写真	
100	錨試験中の写真	
101	帝国海事協会及英国ロイド協会の証明を受けたるオルセン試験機	
102	仕上の錨鎖より破断力検測のため試験片採収中の写真	
103	破断力試験中の写真	
104	同試験後検査中の写真	
105	同試験合格後元の通り中継中の写真	
106	中継後最大安全力にて索引試験中の写真	
107	最大安全力にて牽引せる者を各一リンク宛精密に検測中の写真	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

108	総ての試験に合格せるものを看貴中写真	
109	災害予防施設要領 原動機類、調帯類、工作機械類、電気工作物、衛生上、火災、雑件に分ちて諸注意を示す。	大阪砲兵工廠
110	就業時間による傷害統計図表 昼間傷害者の最も多きは午後二時より三時の間に於ては七時より九時、午前六時より七時の間に多きを示す。	
111	傷害者受診回数統計表 圧迫工に最も多く機鍛工之に次ぐ。	
112	傷害者原因別統計表 機械作業者に最も多く材料半成品の取扱者に之に次ぐ。	
113	傷害種類統計図表 百分比中挫創裂創五〇・六を示す。	
114	傷害種類統計表 職工一万に対し一日平均挫創裂創八・三七を示す。	
115	礦山用安全爆薬試験方法図解 メタン、空気混合瓦斯の点火観測試験及炭塵の点火を観測する試験法。	
116	危害予防上の心得	
117	各大区纏鑑錦絵、京都御所炎上地図	太田天洋（太田大洋） ⁶
118	岩手県大海嘯死屍検査の景写真	
119	大野式防火シャッター 防火用捲上戸の模型なり	大野正
120	航海の安全を司る図書 本邦船舶遭難図、海図原稿図、同銅版、同亜鉛版、海図、北太平洋気象図、潮流図、友ヶ島流速曲線図、明石瀬戸潮流図及流速曲線図、下関海峡潮流及流速曲線図、遭難船舶一覧、東洋灯台表、大正八年海軍航海年表、海上気象学、水路測量書、水路図誌目録、日本水路誌、露領沿海州水路誌、支那海沿岸水路誌、揚子江水路誌、支那海東側水路誌、支那海西側水路誌、東業島水路誌、支那海水路誌、ベンガル湾東側水路誌、大洋航路誌、水路誌付録、水路告示文書	海軍省水路部
121	海事関係油絵額面二	
122	ルーカス式測深機、タムソン式測深器、ブルーク式測深器、スナツパー式重錘、投鉛	

123	三稜鏡付アストロラーブ 恒星の高度を測定す。	
124	傾差儀、磁気偏差儀、キユウ型磁気儀	
125	本多式自記検潮器甲乙	
126	電気装置顕温器 石炭庫の如き温度上昇の恐ある処に装置し或る温度に上昇すれば自然に鐘を鳴らす	海軍造兵廠
127	魔法鱧 温めた牛乳を入れて置くと腐敗する。	樫田十次郎
128	薬瓶に張札 瓶に薬を入れたら直に札を張れ。	
129	哺乳鱧二種 ゴム管がなく、口におかに吸口をつけたのがよい。	
130	ゴムの乳首四種 常にこれを舐らして置いてはならぬ。	
131	玩具三種 口に入れる玩具は病毒をうつす。	
132	浅草紙消毒紙、消毒ガーゼ消毒壺 市売のものは本当に消毒してない。	
133	結核退治絵解掛図	
134	絆創膏 傷にちかに貼つてはならぬ。	
135	石炭酸昇汞 こんなもので傷を洗ふと中毒を起す。	
136	消毒ガーゼ ガーゼをちかに手に持つな。	
137	各種錠前見本 掛金、差込金具、なんばん、揚卸締金具、新案なんばん、ドイツ締金具、振錠、バネ入振錠、フランス揚卸金具、黒塗掛金南京錠、振込金具、瞬釘掛金錠、自在振金具、函錠、当留金具等各種の錠前見本を示す。	家庭経済学会
138	水焔炉、火消壺	
139	スプリンクラー装置 屋内の防火用として備付く	加藤商会鉄工場
140	ファイヤーバケツ模型 同	
141	特許流水式防火装置模型 屋外防火のため流水の装置をなす	
142	呼吸保護器	鐘淵紡績株式会社
143	作業服	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

144	保護眼鏡、呼吸保護器	
145	病室、食堂、娯楽室、消防演習、幼児保育所の各写真	
146	保護眼鏡	
147	呼吸保護器 綿屑塵埃等を吸入せざるために用ふ。	
148	親の罪か、子供の罪か 揮発油を嚙下せる子供。火鉢に倒れかかりし子供。煙管をくはへて転べる子供の絵を示す。	河合三郎
149	木造建築を軽便に耐火構造とする工事標本	川崎工場
150	煉瓦積の耐震、耐曲度補強工事標本 煉火の各層間に金網を布く。	
151	軽便なる混凝土補強材クリンプ金網 コンクリート内部の土止めに金網を使用す。	
152	煙突火の子止用細目クリンプ金網	
153	昇降器、機械周囲安全用クリンプ金網 太線荒目の金網塔。	
154	垣根、間仕切、窓用、鳥獣棚用クリンプ並菱形金網	
155	セメントに交ぜて耐伸防水力を強くする珪藻土	
156	河川堤防の破壊防護工事一案 金網のなかに石を詰めて堤防を築く。	
157	自動火災報知機	共益電機会社
158	自動温度報知機、表示機、電池、電鈴、パラヒン線	
159	絵画	
160	屋内水浴場の設備写真	基督教青年会館体育部
161	水泳に関する注意	
162	エール製南京錠数種 合鍵のない南京錠、同ドーアロック、戸締錠等。	銀座建築用品店
163	トンカンメタル 煙突用鉄板にて腐蝕せず。	
164	耐火耐震のコンクリート建築図	
165	鉄筋切断機及切断小片	

166	煙突用トンカンメタル 煙突等の腐りて火焰を吹くことなし	
167	鉄筋コンクリート ハブマイヤーパーと称するもの、特長はコンクリートと密着するにあり火災及震災予防に適す	
168	金属性防火戸 外観木製の如し	
169	コソトレル式電気収塵装置 高圧直流電氣を用ひて煙中の塵埃及瓦斯に混在せる微粒末を沈殿集収せしむ。	金属鋳業研究所
170	同説明表	
171	同実施装置写真 「古河足尾鋳業所に於ける収塵器前後の煙道及排煙煙突」 「同所荷電せし時、荷電せざるとき」 「三菱鋳業直島製煉所に於ける収塵器荷電せし時、荷電せざる時外同所収塵器写真」	
172	大阪大火図、江戸麹町大火図、東京神田大火図	黒川真道
173	大雷の時仏徒の観念	
174	庁下強窃盜被害に対する犯行統計表	警視庁
175	江戸時代消防配置表、町火消火事装束、腕用唧筒	警視庁消防部
176	加賀鳶火事装束、火の見模型、龍吐水、古代消防状況	
177	革羽織、消口札、独逸消防器具模型、消防隊に対する注意	
178	現代消防配置表、消防官出火場服装、消防署望楼	
179	消防組員出火場服装、蒸気唧筒、水管自動車	
180	唧筒自動車、現代消防状況、明治初年来出火場図表	
181	京浜電気鉄道沿線模型並に電車模型	京浜電車株式会社
182	建築学会災害防止常置委員報告書	建築学会
183	全米防火協会印刷物	
184	懸賞募集準耐火構造に関する模型、図面	
185	屋根及軒廻り模型 陸屋根、蛇腹等。	
186	窓及壁面図	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

187	付属家に接する入口並に壁面図	
188	懸賞応募論文	
189	東京市最近三年間出火箇所頒布図 ^(ママ) 深川区が最も火災を起す	
190	同火災家屋構造別比較図 木造家屋最も多く焼失す	
191	同失火原因類別表 失火は煙草の吹殻より起るもの最も多く炬燵之に次ぐ ^(ママ)	
192	災害写真並に解説	
193	東京国技館火災	
194	大阪東京倉庫株式会社芦分倉庫爆発図	
195	疾病予防設備の例写真五枚 飲料水の濾過、含嗽。	工業教育会
196	みかど式淑女股引 婦人の腰の冷を防ぐ。	
197	肺結核退治掛図、四つのととき掛図 職工によく了解せしむるもの。	
198	工場災害の月別高低表 傷害は五六月に最多し。	
199	工場災害と時間の関係表 傷害は十一時三時五時に最多し。	
200	工場災害と職業及原因の関係表 造船業者に傷害最も多し。	
201	工場災害予防掲示の実例	
202	職工用職服、さるまた、前掛帯等	
203	工場操業服の見本	
204	女工用サルマタ及其裁縫心得	
205	工場災害予防実例の写真	
206	工場水災防備、火災防備、疾病予防、病傷治療設備写真等数十種	
207	職工優遇論、日本現時職工問題、職工住宅と生活	
208	職工訓育掛図、工場火災防備論、工場衛生雜誌	
209	職工問題資料、鉞夫問題資料、女工手百訓	

210	日本戸用佐野式理想扉錠 内外両面より振錠を付け、在不在を示す。	佐野直次郎
211	外用内用薬識別法 中毒予防のため。	私立実践女学校 (実践女学校)
212	薬瓶に張札 瓶に薬を入れたら直に札を張れ。	
213	消毒器 哺乳には必ずこれを備へよ。	
214	消毒薬 家庭には必ずこれを備へよ。	
215	唾壺 唾痰は必ずこれに。	
216	救急籠 家庭旅行学校等には必ずこれを。	
217	蠅帳 台所の災害は蠅と鼠。	
218	掃除の仕度模型人形 必ず呼吸器をかける。	
219	静坐写真	
220	昇汞水	
221	手顔を洗ふ用具	
222	切手を貼る時、札を数へる時、本を読む時舐める なの図	
223	玄関用掃除具	
224	駆虫剤	
225	手先の保護 洗濯の後に塗る薬品。	
226	安全針入一 折畳式にして女学生等携帯に便なり。	
227	蠅帳、チャブ台の蓋、牛乳防腐器	
228	住宅雨漏戸締注意図	
229	盗難上の注意、戸締上の注意図	
230	煮炊具の取扱方、火の用心、湯殿の注意	
231	火鉢 金網を二重にかけたり	
232	鍋 つるを除る	
233	煙突 金網をひきまはす	
234	学校家庭用消火器 東京化工商会製品	
235	刃物の取扱 = 包刀、小刀、刀剣、大工道具	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

236	裁縫道具取扱＝針、鋏、鑷 針は本数を定め鋏にサツクを鑷には台を用ふ。	
237	服装上、掃除上の注意	
238	貴重品、重要文書非常持出規定	
239	校舎防災施設、夜警規定、消火器取扱	
240	火鉢 火鉢には金網の蓋を施し更に其上に山型の金網覆ひをなす。	
241	生徒非常避難計画図 第一第二の集合地点を定め避難昇降口を設定す。	
242	生徒出入昇降口配当図 所定の出入口より昇降し混雑危害を避く。	
243	寄宿舎避難準備	
244	証券用安全インキ 化学的作用により抹消し難くしたるものなり。	篠崎商店
245	桜島爆発模型	島津製作所
246	義歯、五厘一錢二錢銅貨、五錢白銅貨、十錢二十錢銀貨、縫針、碁石、学生ボタン、魚骨、梅干核、針金、楊枝、竹片、玩具片（以上食道内に停滞せし異物）	順天堂耳鼻咽喉科
247	西瓜核、護謨風船、蚕豆、南京豆穀、義歯（以上気管支内異物）	
248	ゴム管片、蚕豆皮、ネコヤナキの花（鼻内異物）	
249	小豆、散弾、丸薬、簪の耳かき（耳内の異物）、ナマリブシ内の魚骨（咽頭内の異物）	
250	縫針（咽頭異物）	
251	写真（直達鏡使用並気管内検査の状）（食道に刺入したる縫針のX光線写真）	
252	直達鏡（永島器械店製作及び出品） ⁷ 異物をとるとき使用する	
253	消防新聞綴、纏便覧、各区消防人名録	消防新聞社
254	旧番組頭取人名付、江戸の花、都の曙、消防法令全書	
255	独逸消防の近況と所感、唧筒操法全書	

256	火災予防と消防	
257	津波浸水区域	震災予防調査会
258	震災予防調査会報告書類	
259	安政二年江戸地震に関する図書類	
260	震災噴火津波等の大形写真 桜島、有珠山、浅間山、濃尾地方及桑港、台湾、メツシナの惨状	
261	地震津波等の験測記録図	
262	地震津波に関する図解 寛永、安政年度に於ける図	
263	木造耐震構造雛形	
264	東京地方有感地震々 ^(ママ) 原地点の分布図	
265	熔岩、火山弾類 桜島、大島、浅間山の熔岩	
266	田島式鋼鉄製戸棚、同鋼鉄製窓障子	
267	同式鋼鉄製腰戸、同式両筒形鋼鉄製捲揚扉	
268	同式鋼鉄製唐戸、同式鋼鉄製特種防火戸	
269	田島式鋼鉄製建具用骨格、鋼鉄製柱形、同畳込扉	
270	軽卒なる結婚と遺伝の災害五枚 精神病的変質者の生れる原因、恐るべき遺伝の加入、遺伝災害の端緒、酒と毒、恐るべき遺伝実例、米国カリカク家の系図。	杉田直樹
271	被保険者死因百分率 大正二年より同六年に至る五年間の統計にして死因年齢を別に分ちて區別したるものにして其最も多きは結核病之に次ぐは消化器病なり。	生命保険会社協会
272	生命保険契約府県別発達図 大正六年度の発達状況を示す、内東京府最も盛にして宮崎鹿児島両 ^(ママ) 最県下位にあり。	
273	小口金庫（国松式盗難防止安全錠付）	高木朝吉
274	田中式簡易火災警報装置 イ、電柱取付型発信器、ロ、同室内用、ハ、受信器	高田商会
275	鋼鉄製防火戸見本	
276	酒井左衛門耐火消方行列図	高橋健自
277	増山河内守火消方行列図	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

278	公衆用消火器 街路通行者の眼に触れ易き所に置き、失火発見者が直ちに使用し得るもの	田崎忠恕	
279	直方試験所の全景	筑豊石炭鉱業組合（筑豊石炭鉱業組合事務所）	
280	試験坑道の爆発実験光景、安全灯試験器全形写真		
281	墜落試験器、耐熱試験器、救命器練習実況写真		
282	炭坑内保全資料		
283	携帯電灯 島津製川北製の二種 <small>（ママ）</small> こは電球上に硝子筒を被せ電球の頂と硝子筒との間に弾線を置きて電球の破損を防ぐ。		
284	ウオルフ安全灯 最新式のものにて金網を二重とし更に鉄筒にて被ひ揮発油を使用す。		
285	デビー型安全灯 鉄網は針金の五十分の一吋網目は一吋平方に七八四個あり植物油を使用す。		
286	シエノー式瓦斯検定灯 メタン瓦斯の有無を検す。		
287	トレーゲル救命器 炭坑爆発の時救護者着用す。		
288	ウエストフアリア型救命器		
289	大正六年十月一日台風の天気図 東京府及近県に津波を起せり		中央気象台
290	本邦気象信号一覧図		
291	各国暴風警報信号一覧		
292	地方暴風警報信号標模型、暴風雨標模型		
293	大正六年十月一日東京湾津波調査図		
294	明治四十二年八月十四日江濃地震々度分布図		
295	全国雷災統計 大正四年より七年に至る全国雷災統計にて大正四年に最も多くこの災にかかれり。		
296	帝国劇場に於ける防火幕設備模型並其実験 防火幕は鉄製にして舞台と棧敷の間を隔つ。	帝国劇場	
297	水難救済具一式 締結付投網、重付投網、滑車、担架、手提灯、小鍬、鳶口、斧、ズツク製バケツ、双眼鏡、浮輪、胴巻、馬尼刺綱、唧筒、船旗、標旗、号角、羅針盤、晴雨計、寒暖計、信号旗、信号書、救命砲、轟弾砲。	帝国水難救済会（水難救済会）	

298	救命砲使用水難救済実況油絵額其他絵画	
299	水難に関する油絵大小各種	
300	胃中の齒磨楊枝（誤て嚥下せるを切開除去す）	帝国大学医学部付属佐藤外科
301	腸中の綿捲棒（鼻腔を通し嚥下せるを切開除去）	
302	胃中の二錢銅貨（嚥下十二日後排出せるもの）	
303	胃中の玩具（男児遊戯中鉛の振子を嚥下し九日後切開除去）	
304	食道中の一錢銅貨（嚥下せるを釣貨器にて除去）	
305	食道中の義齒（嚥下したるを三日後に除去）	
306	食道中の義齒（上部食道中に滞留せるを二十日後外食道切開切除）	
307	写真原版〔旅行及運動時に関する出品物〕イ、二十年の男ボートレースの際敵艇と衝突を避けんとして右手負傷。ロ、乗馬の際電柱に右足を打付けしもの。ハ、鉄鎚投の際右脚に打付けしもの。ニ、ベースボールの際衝指せしもの。ホ、ベースボールの際に迂りて右手を側後方に突きしもの。ヘ、器械体操の際左手首を逆に捻りたるもの。ト、柔道競技に傷きたるもの。チ、右の負傷者の整復せしもの。リ、スケート競技中壁に手を衝当てしもの。ヌ、柔道競技中対手の体伸展位の左上肢上に倒れしもの。	帝国大学医学部付属整形外科
308	写真原版〔工場の災害に関する出品物〕イ、左手を作業中に調革に巻き込まれしもの。ロ、作業中土砂中に埋り右側大腿骨頸部を骨折せしもの。	
309	電線に関する図額 火災の為切れたる電線を素手にて掴みて死せる図、舩が電線に懸り糸より伝はれ電気のため□〔1字判読不能〕に子供の死せる図、切れたる電線を竹竿にて始末する図、コードより発火せる際安全器の紐を引き居る図、濡手にて電灯を持たんとする図。	通信省
310	汽車中発火の実例図	
311	船内無線電信局火災報知の図	
312	潜水艇防禦図一 船体を種々の色、種々の形式に塗つて、敵艇に船の方面を見誤らしめる。	
313	同二 商船を多く集めて駆逐艦で護送す。	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

314	救命筏（角形タンク）一 桁形の真空タンクを列ねて筏とし、食料、水、電灯、コンパス等を備ふ。	
315	同（筒形タンク）一 筒形の真空タンクを列ねて筏とす。備品前に同じ。	
316	救命浮器（筏型、箱型）二	
317	救命浮器（椅子型）一 常時は椅子として用ふ。	
318	救命浮器（腰掛型）一 平時は腰掛として用ふ。救命胴器（コルク入）二 旧式	
319	同（カボック入）二 新式、柔かにして軽し。	
320	救命用具各種カボック、四 綿の如きものにて、我国には台湾に産す。	
321	米国救命衣図 蝦蟇口状の構造にして身体のぬれざる特長あり。	
322	救命胴衣着用人形 着用者は頭部を水上に現し得べし。	
323	普通救命艇模型 艇の周囲腰掛の下に空気箱ありて浮力を大にす。	
324	新式救命艇模型	
325	普通救命艇模型	
326	船灯 イ、舷灯（船の左右を示す） ロ、檣灯（汽船のしるし） ハ、船尾灯（後方船に示す） ニ、碇泊灯（舟泊りのしるし）	
327	電信器械の雷除け器械各種 写真三、器械五	
328	世界灯台標数図表	通信省航路標識管理所
329	航路標識累年比較図表	
330	日本沿岸航路標識位置の図	
331	各種灯台模型 点火装置	
332	各種灯台写真七枚	
333	本所所管灯台標基数及建設費図表	
334	電気回転灯実物 実地点火	
335	アセチリン瓦斯明暗灯 実地点火	
336	人工呼吸の図額 電気に触れて絶息せるものに入人工呼吸を施す。	通信博物館

337	火災報知電話解説図額 交換手を呼んで一声火災と云へば直ちに消防署へ通ずることを図解せり	
338	室内電灯電力線に関する図額、同説明額 油絵	
339	小包郵便物荷造法の実例 菓子折、武力函、帯地、瀬戸物等の完全なる包装と不完全なる包装を示す。完全なる包装材料としては麻糸、上に渋紙、中は桐油、下は包紙、これに厚板の箱と鮑屑のつめものを用ひたり。不完全なるものには寄せ集めたる紐、古新聞、商店の包紙、ブリキの上に直ちに包装せる、或は薄弱なる木箱。	
340	鉄道郵便車室内の火災実況油絵、同写真及予防説明書	
341	汽船々員作業模型	
342	徳川時代千石船模型	
343	同灯台額	
344	畳込式救命艇模型（台付） 舷を折畳みて備付に便ず。	
345	救命筒水密試験写真	
346	コストン式端艇吊鉤装置図	
347	ランチン式畳込鋼製救命艇図	
348	救命浮器使用図	
349	暴風警報海陸通信連絡図	
350	艦船宛暴風警報伝送系統 ⁸	
351	簡易生命保険加入者災害死亡数死因別比較表	
352	同加入者災害死亡者数府県別分布図	
353	電車戸締装置	鉄道院
354	煙突に於ける火粉止及注水装置	
355	灰箱、機関手用防塵装置	
356	客車の部（緊急制動装置「車掌弁、警報器」）	
357	一般車両（自働連結器）	
358	列車の部（直通自働制動装置、直通非常制動装置）（列車の前端並後部信号「灯、円板」）	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

359	列車の常備品（雷管、信号旗手合図旗、合図灯） （列車搭載電話機、接続竿）（列車運転規定抜華、 鉄道死傷者統計）	
360	各閉塞区間施設（説明図、写真添）（連働装置「第一第二種、連動装置写真」）（信号機「場内、遠方、出発、側線、通過、自働閉塞各信号機」）（閉塞機「タブレット、双信、坪井式各閉塞器」）（タブレット受授器）（列車標券「通券、通標、指導券、停止券」）（標識「転轍標識模型、車止標識」）	
361	線路並建物に対する施設（水害防止設備「応急処置、応急材料配置、水害統計、キュラス護岸、キュラス」）（雪害防止設備「雪覆防雪林類雪止、雪害統計、各種防雪設備及効果実況、雪覆額雪止及雪止柵、ラッセル雪掻車、除雪器機、除雪器具及作業」）（風害予防設備）風速計を装置し列車の安全を計る実況（火災防止設備）散火囲及沿線家屋葺換実況（踏切の設備）	
362	保健及救護の施設（救護規程、救護行李、普通救急箱、列車用救急箱、救急囊、救護材料配置図、鉄道病院治療所及鉄道医の配置図、除塵用眼鏡、有害瓦斯除覆図）	
363	外国に於ける鉄道線路踏切に対する道路上の設備図	
364	鉄道に於ける不慮の災害 人事に関するもの、油絵額十三枚（停らぬ内に降りるな。棚に危険物をのせるな。扉によりかかるな。戸の締り口に手をかけるな。線路へ立入るな。昇降を争ふな。停らぬ内に戸をあけるな。出入口で人を押すな。窓から物を投げるな。線路で子供を遊ぶすな。列車に石を投げるな。渡り橋があるのに線路を横切るな。）荷造に関するもの、水彩画額十三枚（不良荷造の損害を示す。）	
365	工場設備（歯車の覆、木工場木屑吸出し装置、グライNDER塵埃吸出装置、鍛冶工場吸煙装置）（電気瓦斯熔接器使用の際用ひる手袋眼鏡及作業中写真）	
366	火事の元用心絵画 ランプを倒せしもの、炬燵より失火せしもの其他十余枚	東京火災保険株式会社
367	馬蹄形救命具	東京救命具製造所富本
368	救命浮環	コルク商店

369	救命浮革	
370	救急用具	東京高等師範学校付属 中学校（東京高等師範 付属中学校）
371	付属中学山岳部旅行携帯品及び印刷物	
372	同部員旅行実況（水彩画）	
373	気象警報電報 例、テンキワルクナルチウイセ	
374	実験服 理科実験用。	
375	揮発性液体類入罐 ベンゼン、エーテル、硫化炭 素等の液類を容る。	
376	実験用マスク 鼻口を掩ひて毒瓦斯の吸入を防 ぐ。	
377	安全瓦斯発生器 原料の浪費を防ぐ。	
378	固形消火器、防火用砂、保護眼鏡	
379	防火布 火を失したる時消火用の一として備ふ。	
380	劇薬用罐、感光性薬品用罐（色付罐）、実験用眼 鏡	
381	登山用具（足袋、防水マント、手袋、蓑蔭、脚絆、 帽子、リュックサック、杖、小田原提灯、マツチ、 蠟マツチ、安全マツチ、蠟燭、付木、油紙、地図、 磁石、安全ピン、細引、糸、ナイフ、荷札、水筒、 呼子、弁当箱、蔦口、カンジキ、固形アルコール、 セルロイド製地図入、飯盒バロメーター、アルペ ンロープ、寒暖計、灰色眼鏡、チヨーク、クリノ メーター、罐切、瀬戸引コップ、薬品「アスピリ ン、ヘルプ、カスカラ、鎮痛散、宝丹、絆創膏、 沃土チンキ、アンモニア水、脱脂綿、ガーゼ、沃 土ホルム、繃帯、体温器、毛拔、懐炉」、道明寺糰 、ビスケット、ウエーフアース、砂糖、鯉節、鹽、 梅干、天幕、毛布）	東京高等師範学校付属 中学山岳部
382	救急箱	東京市教育課
383	救急用具	東京市教育会
384	児童遊園模型	東京市児童遊園協会
385	電車事故統計表	東京市電気局
386	電車事故予防に関する電車内広告	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

387	遺留品統計図 風呂敷が多く、一ヶ年遺留現金三万四千五百三円六銭七厘に上る。	
388	電車事故額面 十三枚 急に曲りし自転車の危害。急に曲りし荷車の危害。後より切符を求めて電車に挟まる、車掌台の鎖に凭る危害。すれ違ひの電車に触る危害。飛乗の危害。横断人力車の危害。雨傘をさしての危害。窓外に首手を出す危害。切れたる電線に触るる危害。軌道に沿うて歩む危害。後向飛降危害。運転手台飛降の危害。	
389	透明自働車 一般人をして自働車の内部構造及作用を外より窺ひ知らしむる目的にて創製せるもの。	私立東京自働車学校
390	自働車危険図 生命危き轢かれ方、生命に別条なき轢かれ方。	
391	救急用具	東京少年団
392	急救箱（少年団用）	
393	軽便担架（軍杖を応用して担架となす）	
394	消防器具見学写真	
395	軍杖を携帯せる団員写真	
396	野外演習の際急救所及其の写真	
397	急救担架演習写真、行軍中の救護班写真	
398	軍杖応用危険地警戒写真	
399	団員手帖（非常時心得）	
400	少年団指針（災害時に対する心得教授項目）	
401	風水害後倒木整理写真	
402	エーフ式防火噴霧両用唧筒 いづれも家庭用ポンプにして婦女子と雖も一人の力を以て多量の水を優に五十尺以上不断任意の方向に放水し得、主として防火用に供するの外平常は庭園道路の噴霧器として使用し得	東京唧筒株式会社
403	八年式消火唧筒	
404	呼吸器〔疾病の予防及び手当に関する出品物〕職工に用ひしむるもの。	東京電気株式会社
405	救急用具	

406	救急箱〔傷害予防及手当に関する出品物〕	
407	建物耐火構造、非常口及非常階段写真	
408	照明器具、換気及階段写真	
409	便所写真	
410	汚水清浄装置写真	
411	薬品倉庫構造	
412	工場用火災報知機 火災を発見した時は、上の硝子板を破壊し内部の中央にある釣を下方へ引く	
413	防火扉、消火栓	
414	スプリンクラー、毛布、バケツ	
415	火災避難練習	
416	安全掲示板 各種の注意事項掲示用。	
417	梯子 梯子の上部に鈎、下部に沓を取付けて倒るるを防ぐ。	
418	プレス安全設備 金網様の被覆を施して怪我なからしむ。	
419	歯車安全装置 歯車に被覆金網を施し指、衣服を挟まれぬ様。	
420	ベルト安全装置 滑車の周囲を金網にて包み接触を避けしむ。	
421	劇薬運搬箱 箱内に伸縮自在の巻線を置き墮を倒れざらしむ。	
422	救急箱〔工場の災害に関する出品物〕 中に各種薬品と必要療器を備ふ。	
423	保安眼鏡、呼吸器〔鉱山の災害防止に関する出品物〕、建築箱	
424	中央安全委員会、消防委員会、消防団、衛生委員会、医務室の各写真	
425	コードの太さ 備付の電灯球を大きなものに加へ、又電圧器を用ひると電線が焼ける。	東京電灯会社
426	子供の遊戯と動物 停電の多くは鳥や子供の尻による。	
427	コードの危険 釘にかけたり、戸障子に挟んだりすると電線が悪くなる。	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

428	湿気の危険 コードが水に濡れると漏電する。	
429	電線と管造物 造作替を勝手にすると危険。	
430	電球を包むは危険 紙や布が焼ける。	
431	屋内報知機一（盗難用）	東京報知機株式会社
432	親報知機一（火〔災〕盗難信号用）	
433	火災報知機 当方の通報が先方に達せしを知ることを得	
434	親報知機（火災盗難信号用特種型）上に同じ ⁹	
435	火災盗難受信機 同上 ¹⁰	
436	屋内報知機（火災用）同上 ¹¹	
437	負傷比較表 材料運搬、取扱中負傷者最も多し。	
438	烟管収容箆図 水を盛れる鉄皿の上方に箆を吊し喫煙家の為に煙管を置かしむる装置。	
439	油布収容壺図 地を掘りて壺を埋め之れに水を満たし置き油布をこの中に捨てしむ。	
440	油罐格納箱 揮発性油と普通油と区分して之に蔽め発火を防ぐ。	
441	瓦斯炉の保安設備図 瓦斯と空気とを混じて爆発せざる装置。	
442	フライス盤保安具 格子状の被覆を設け負傷を防ぐ。	
443	バイト保安具 眼鏡を取付けて切屑の飛散を防ぐ。	
444	チヨーク挟 フライスを交換しフレを見る際使用して負傷なからしむ。	
445	金剛砂砥保安装置図 機の回転速度を緩和せしめて危険を防ぐ。	
446	楔及押螺子の保安装置図 楔の頭を木片にて被覆す。	
447	圧延機の保安装置図 従業者の注意を喚起すべき目標を置く。	
448	木工用鉋機の保安装置図 常に鉋を保安器にて覆ひ使用の際鉋を出す。	

449	円鋸機保安装置図 ロールに手袋を巻き込まれて負傷なからしむ。
450	調帯保安装置図 鉄板又は鉄棒を以て調帯を支へ置く。
451	調帯掛け脱し装置 長き棒の先に腕木を取付け掛け脱しに便す。
452	梯子保安具 梯子の上部に金属製の鉤を取付けしもの。
453	原軸及中間軸の給油図 高所の機械に給油の際登るべき梯子に特種の装置を施して梯子の倒れざる装置をなす。
454	繰鋸図 回転の際木樋型の保安装置をなし負傷を防ぐ。
455	中間軸用の油皿保安装置図 油皿を鉄板にて支へ折損落下を防ぐ。
456	乾燥室爆発光景写真
457	爆破造粒室内部光景写真
458	爆破造粒室と隣接破碎室との光景写真
459	乾燥室の爆破により硝石倉庫屋根瓦破損の光景写真
460	爆粉製造室一部爆粉分室の模型 作業手と篩分器とは室を別にす。
461	雷管製造工場の危険区域の一部を示す模型 五百分の一。
462	火薬製造工室用具 (木製一槌、篋、屑取。真鍮製一捻廻し、篋) 磨擦撃突により発火する患なからしめんため鉄製器具を用ひず。
463	葉盤旋削用旋盤に設くる保安装置図
464	礦業用雷管填薬室模型 二十五分の一。
465	小銃雷管填薬避害装置 作業手は装置と室に異にし厚壁を以て境す。
466	火薬工室使用の器具 煽風器 ^(マダ) を用ひて火薬の粉を吸ひ込ましむ。
467	危険工場の災害防止及防火設備の建築模型

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

468	眼蒸器 吸入器様のもので盲者の眼を蒸すに用ふ。これを用ふれば盲者の眼の種々なる障害を防ぐことが出来る。	東京盲学校
469	東京盲学校生徒眼検査表	
470	万国盲人数比較表 日本人は約七万人	
471	日本壮丁の盲目に関する統計的観察付盲人予防の梗概書	
472	初生児膿漏眼防止法	
473	初生児膿漏眼の病兆並薬品	
474	海外に於ける実施の様様	
475	東京盲学校残視保存法実施者大正七年度統計表	
476	同上実施の様様図解	
477	欧米盲学校創立年表	
478	盲人視力保護並補足用各種眼鏡	
479	不良結婚七例 イトコ同士夫婦の子七人の子の中二人聾、兄妹夫婦の子四人の中三人聾、兄妹夫婦の子三人の中三人とも聾、伯父姪夫婦の子四人の中三人聾、他に三例あり。	
480	両親婚別生徒失官原因統計表（自明治十三年至大正七年四月）聾啞生徒一〇四四人の中無縁者の子、七八二人、有縁間の子二六二人。	
481	聾啞生徒失官原因表（自明治十三年至大正七年四月）聾啞生徒一〇四四人の中生徒四四三人、脳膜炎脳病二五八人、脳打撲七四人。失官年齢は悉く十一歳以下なり。育兒上大に反省すべきである。	
482	火の用心囊 三尺四方のツツク製にして非常の際之に重要品を容る。	
483	ペスト予防設備 イ、捕鼠器（棉糸を以て網目一吋幅三尺の網を用ふ。噛まるること、抜けらること、飛び越さるる憂なし） ロ、鼠の麻醉器（鼠を器内に容れ麻醉薬を空気と共に器内に送りてこれに寄生する蚤を殺す）	東洋紡績衛生試験所
484	荒川改修工事一万分の模型 荒川流域地勢を示す。	内務省土木課
485	同平面図並写真	

486	災害損失価格累年比較図 明治四十年より大正五年までの間に於て最も多きを明治四十三年とす。	
487	災害土木工事復旧費累年比較図 明治三十七年より大正二年までに明治四十四年度に於て最多額を費せり。	
488	庁府県災害損失価額平均年額比較図 利根川、荒川、富士川、神通川、阿部隈川、信濃川、千代川等災害最も大なり。	
489	廻転写真、荒川改修工事断面見取図	
490	六十五大川図表	
491	直達鏡 異物をとるとき使用す	永島器械店
492	主要作物病害虫標本及写生図	西ヶ原農事試験場
493	農作物煙害写真 里芋、梨、茄子、胡瓜、甘藷、粟、苳蒿、胡麻、蕎麦等の煙害	
494	同鉱毒写真 稲、大麦等の礦毒	
495	害虫駆除薬品及駆除法	
496	顕微鏡実験 綿虫の標本を一般観察者に実見せしむ	
497	飲酒被害者の大行列図 油絵大額面。	日本禁酒同盟会本部
498	大学生墮井溺死図	
499	酒にて結婚の結果図 結婚式と夫婦喧嘩を対照したり。	
500	低能児落第図 飲酒家の子供低能にて落第を貰ひ渡され泣いて居る絵。	
501	酒害の胃腑図 健全者、小飲者大酒家、発瘡せる胃癌、中酒発狂の六種図解。	
502	喫煙から出火図 職工の喫煙と工場の火災。	
503	汽車の災害図 ポイントマンの酩酊によるを示す。	
504	自動車墜落図 運転手の酩酊によるを示す。	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

505	<p>庭園の害虫標本及図面 ○庭園樹木災害の原因 樹木の病菌による害(さくらの天狗巢病、松の立枯病) 樹木の昆虫による害(松の鉄砲虫、梅の鉄砲虫、梅のテンマクテムシ、桜の介殻虫、白蟻の被害、つつじのミノムシ、松の介殻虫及蚜虫、椿の介殻虫) 樹木の暴風の害(腐敗部より裂けたるもの) 樹木の人為による害(子供のいたづら)</p> <p>○標本(松の病害虫標本、松の害虫、薔薇の害虫、楓の害虫、椎の介殻虫、接枝幹の害虫鉄砲虫、同ハンノキ毛虫、同コスカシバ、薔薇の害虫、もちの煤病及び介殻虫) ○図書及写真(注射にて虫を殺す図、三代將軍手植の松治療の状況、椿山荘天狗松薬剤撒布の実況、鎌倉八幡宮前松並木の治療、陸軍士官学校兜松治療)</p>	日本植物愛護会
506	<p>航空機襲来防備パノラマ 入口の方は主として工場防備を示したもので、工場の周囲約十五里以内に、自働車、空中砲、聴微音器、繫留気球、探照灯、其他を配置し、敵機の爆音を聞くや、中央司令部よりそれぞれ電話にて命令を発し、襲撃に应ぜしむる設備を示し、奥の方は都会防備の一例を示したもので、都会付近の平野の中に上空より見れば一見都会の如く見ゆる様に絵での形状を模したものをこしらへ、それに電光を照らして敵の目を誤らしむると同時に、本物の都会は全く灯火を消して暗黒とする設備を示して居る。</p>	日本飛行協会
507	<p>航空機襲来被害実況絵画</p>	
508	<p>飛行機襲来防備模型 市街地、工場地、丘陵地、鉄道等を現はし繫留気球、探照灯、微音聴音器、空中砲(微音器付属自働廻転)自働車、飛行機、塹壕等を以て内外各所を警備し中央司令部の命令を持つ状況と、敵機襲来盛に爆弾を投下し市街に火災を起したる状況を示す。(交通の部参照)</p>	
509	<p>各種説明図十枚 機上の機関銃操作、気球の色彩、爆弾投下、都市襲撃、空中戦の活躍、海上に於ける襲撃、電気警笛等の図。</p>	
510	<p>航空機より生ずる災害防止に関する落下傘の絵</p>	
511	<p>船内防火、鼠害防止設備縦断面図油絵</p>	日本郵船株式会社
512	<p>戦時護衛に於ける商船隊鋸航及船体保護色等の有様を示せる油絵 船体を色々の形、色に塗つて、敵の視覚を誤らしむるもの。</p>	
513	<p>保護色実施船舶写真</p>	

514	霧中曳行浮標、霧中ベル、霧中警笛	
515	煙中用覆面器	
516	航海灯十種	
517	救命筏模型 通信省出品に同じ。	
518	救命帯の各種	
519	救命毛布（カボック製）一 難船の時に身に巻きて浮器となる。	丹羽莊治郎
520	救命艦船枕（同上）一 枕を解けば胴衣の浮器となる。	
521	救命毛布使用絵画	
522	カボック樹写真並に果実	
523	登山心得	農商務省山林局
524	砂防工事に関する印刷物	
525	土砂攔止林、水害防備林写真	
526	荒川筋洪水予報基礎方程式、木津川沿岸の竹林写真 ¹²	
527	愛知県瀬戸地方の砂防工事写真	
528	山梨県下信玄堤防写真	
529	海岸飛砂惨害写真、暴風林写真、屋敷林写真 現在本邦海岸砂地の面積は三万七百町歩にして其内造林を要するもの二万町歩に達す。	
530	保安林種類別面積表	
531	林野火災惨害の実景、同上被害面積損害府県別表	
532	保安林面積図	
533	林野火災火見櫓写真、防火線と造林地写真	
534	森林成立写真、防腐木材と菌害を受けし床下用材	
535	鉞煙被害林惨状写真、耐煙樹種名一覽図	
536	煙害樹葉被害実況写生図	
537	森林火災と其警防、林野警防事例、木造洋風家屋と腐朽	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

538	森林測候所の設置参考図 河川の上流水源地方に於ける森林の気象は森林経営上及び治水上直援〔ママ〕の関係あるを以て明治四十四年以来今日までに全国に既に三十五ヶ所の森林測候所あり。	
539	工場に於ける災害防止写真類 イ、石炭坑爆発予防調査所全景（在福岡県直方町御館山） ロ、偽〔ママ〕似坑道を爆発実験後の光景 ハ、安全灯の爆発試験機（瓦斯と空気を通じ安全灯火にて爆発試験に用ふ） ニ、安全灯構造強弱試験機（坑内に於て安全灯が破損せざる程度の試験用） ホ、効助器使用練習中の光景	農商務省商工局
540	炭塵標本 石炭採掘中石炭の粉末は空中に浮游す此炭塵は一旦瓦斯爆発する事あらば引火して一層爆力を盛ならしむ。	
541	鯉節、鯉害虫標本及図説	農商務省水産局（農商務水産局）
542	有毒有害魚類標本 とらふぐ、あるご、しびれえび、きぎ、おにおこせの標本。	
543	漁船遭難予防海錨使用方法模型並に海錨実物 海錨とはツツク製円錐状のものにて、之を曳き行くときは遭難を免る。	
544	漁船遭難一覧図	
545	風信号標模型、簡易風信号標模型	
546	折畳式運搬器	服部泰太郎
547	番人監督時計（火難盗難用）「精工舎製、瑞西製」	服部時計店
548	バロメートル 暴風予知に対するもの。イ、服部製スタンダード水銀晴雨計 ロ、同マリン水銀晴雨計 ハ、同空盒晴雨計 ニ、同	
549	測風器 イ、服部製測風器 ロ、英国製測風器	
550	湿度計 イ、服部製毛髪湿度計 ロ、同乾湿寒暖計 ハ、同	
551	寒暖計 イ、英国製自報寒暖計 ロ、仏国製自報寒暖計	
552	避雷針及雷災に関する参考品	原安商会
553	安全灯の火焰表 火焰の長さにより瓦斯の分量を知る。	福岡鉱務所
554	写真 石炭坑爆発予防調査所全景。	

555	救命器 炭坑爆発に際し救護者の使用に供す。	
556	安全灯（デビー型安全灯）（ウォルフ型安全灯）（セノー型瓦斯検定安全灯）（電池安全灯）爆発性瓦斯の有無試験用に供す。又灯油安全灯を用ひられざる時は電池安全灯を使用す。	
557	安全灯試験装置 イ、安全灯墜落試験器「構造の強弱試験用」 ロ、安全灯腰硝子の耐熱試験用 ハ、安全灯風入試験—結合の良否試験用	
558	坑内坑道の落盤及天井留付、火薬装填ト発破	古河合名会社
559	坑内安全道路捲揚機の安全装置	
560	工場内安全専一標示及安全装置	
561	架空索道安全設備、鉱夫長屋防火壁、毒水と浄水池	
562	煙害予防設備、石炭坑内と安全灯	
563	白蟻塔	星製薬株式会社
564	白蟻予防木材防腐剤 専売特許吉田式木材防腐剤、専売特許テルミツール甲号、同乙号、専売特許テルモール。	
565	電鍍屋根模型	本間重蔵
566	火事装束（頭巾、被布、下着、当帯、巾帯、胸当、長刀蔽、七刀、提灯、袴、緋縮緬着物等古代の物）	松浦伯爵
567	瓦斯の検測法及安全灯の実験	三井鉱山株式会社
568	炭坑大爆発を生ずる危険炭塵	
569	炭塵除去法用器具写真	
570	噴霧器布製バケツ及竹柄杓、爆発季節表	
571	灰分増加により炭塵の安全法 重岩岩粉炭塵見本	
572	坑内爆発を一局部に阻止し伝播せしざる装置	
573	爆発後毒瓦斯検測用のカナリア鳥籠	
574	本邦某炭坑内爆発が岩粉撒布により制限し伝播を免かるべき図	
575	安全玩具各種 主としてゴム製、コルク製、木製の堅牢なるものを陳列せり。	三越呉服店内児童用品研究会

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

576	棕梠繩、綿を入れたる帽子、提灯、非常持出葛籠 何れも非常時に対する平素の用心	三宅秀
577	名刺 近火見舞の時使用普通の四倍程の大きさ	
578	足袋、草履、ツツク製釣瓶、幕 非常時に用ふ	
579	理髪用器具一式	私立明治理髪学校
580	消毒機、スチューム消毒法	
581	各種の髪油	
582	顔剃及顔洗姿勢図 姿勢のよしあしを示す。	
583	消毒せぬ手拭としたる手拭 一々紙に包みて封 ず。	
584	自働唧筒	森田製作所
585	セメント防水剤ウオータイト	守谷商会
586	湧水噴水セメント防止急結防水剤クキツクウオー タイト	
587	木材防火剤セーフタイト	
588	ウオータイト、セメントパイプ（防水、衛生、瓦 斯、空気送管）	
589	硅藻土（セメント固結用）	
590	船底ペイント、耐火ペイント、耐酸ペイント	
591	耐水ペイント	
592	タイル（化粧煉瓦）衛生的耐久材料。	
593	仏国式日本洋瓦	
594	耐火煉瓦 マクネサイト、クローム、珪石、半タ イナス、臘石製、粘土製等各種の耐火煉瓦〔ママ〕。	
595	圧搾コルク	
596	鉛の中毒症、酸化炭素中毒症、水銀疹標本	山越長七
597	石炭酸瘰癧、通風結節、酒精疹、タール職工の座 瘡標本	
598	砒素の中毒症標本	
599	人命救助器（ライフセーバー）酸素を吸入して毒 瓦斯又は煙中に活動することを得。	山武商会

600	人命蘇生器（プルモーター）圧搾酸素を人工的に吸入せしむ。	
601	空気検定器（エロノーム）炭酸瓦斯含有量測定器。	
602	火災原因種別図	山脇高等女学校
603	同統計表	
604	非常避難階段写真	湯島尋常小学校
605	盗難予防秘密錠取付応用重ネ筆筭一―号二―号	横井祐助
606	検疫所舎等の写真、検疫順序を示す写真	横浜検疫所
607	吉岡式盗難予防器 電池、報知機、警戒機の三部より成り、盗賊戸を開かんとして警戒機に触るれば報知機は非常に音響を発し、家人の気付かざる限り、盗賊電線を切断し警戒機を取除くとも徹夜鳴り響く装置なり。	吉岡直次郎
608	軍医携帯嚢 種々の医療器、薬品、材料等を入る。	陸軍省衛生材料廠（陸軍衛生材料廠）
609	医療嚢	
610	携帯薬	
611	保健錠	
612	浄水薬	
613	飲料水殺菌剤甲乙二種	
614	石地式濾水器 円錐形ゾツク製にして吊することを得。	
615	繻帯嚢	
616	繻帯包	
617	凍傷膏	
618	試作繻帯包	
619	列車用担架、釣上担架各一	
620	塹壕担架	
621	積雪横倒家屋図 屋上の片雪落下に因る建物横倒の型態連続図。	陸軍省経理局
622	積雪破壊倒壊建物写真及積雪写真 六枚	
623	渡廊下凍害建物 凍害に因り建物の歪めるを示す模型。	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

624	同凍害予防構造 地面下に要する構造を模型にて示す。	
625	凍害倒壊試験器 ゼンマイ伸縮の度により地盤の横圧力を測定す。	
626	土壤横圧図 土の横圧力を図解せり。	
627	凍上試験図及土壤凍結深の図	
628	凍害予防と基礎との関係図 地盤凍結の深さと基礎根積の深さの関係を示す。	
629	旭川温度表	
630	旭川防寒官舎模型及同平面図	
631	温土炉付朝鮮人住宅及西伯利亞地方建物写真	
632	温土炉構造模型 朝鮮伝来の手法に改良を加へたるもの。	
633	火薬爆発被害写真及火薬庫構造設備模型	
634	鉄筋コンクリート建物模型 針金にて全構造を示す。	
635	同写真 内部及外観之図。	
636	白蟻 (試験管入)、白蟻の巣、同写真	
637	蟻害木片及写真	
638	防蟻防暑建物	
639	防寒帽鼻覆共一	陸軍省被服本廠
640	同覆面 (同) 一	
641	毛メリヤス手套一	
642	同大手套一	
643	同靴下一	
644	防寒靴一	
645	防暑帽一	
646	同衣袴一	
647	防蚊覆面一	
648	同手套一	

649	折畳式寝台（蚊帳共）— 以上十二種はどれも軍用品にしてシベリア出兵等の際にも使用せるものなるが、極寒極暑の地方へ旅行する者には必要の品多し。	
650	殺虫剤— 同薬品（二硫化炭素、ナフサリン、カンフルナフサリン、フオルマリン等各種）	
651	被服害虫標本各種 腹白鯉虫、姫鯉虫、ヂビマル鯉虫、モーゼンガ、小衣蛾、衣蛾等。	
652	被害毛織物毛及実物	
653	航空兜 航空機に於て頭部保護用。	
654	岡崎式濾水器 直径四五寸、長一尺六寸位にして、戦地に於て不良水を清澄する為に使用するものなり。不良水に明礬を投じて攪き交ぜ此内に濾水器の胴にネルを巻きつけて沈め濾過するものなり。	陸軍糧秣廠
655	携帯濾水器 極小二三寸位	
656	沸水車 戦地に於て煮沸殺菌したる水を軍隊に補給する為に使用する冷却装置付きの沸水車なり。	
657	不良罐詰内に発生する代表的有害菌膿大図及同食中毒に対する予防心得 バチルス、ポウリヌス、腹炎菌、パラチブスB菌、プロテウス菌等。	
658	水の濫用、蚊の発生図 内地に於ける水の濫用と戦地に於ける水の欠乏を示す。	
659	火事羽織、女用火事装束、胸当、打掛、夜学灯	和田千吉
660	金網提行灯、同提雪洞、消防組集合写真	
661	箒川汽車顛覆遭難前地区	
662	安政二年十月江戸大地震付類焼場所絵図	
663	同江戸大地震火事略図	
664	兵庫県飾磨郡広峯山ホラヌケ写真	
665	秋田県仙北郡畑屋村に於ける崩壊写真	
666	町屋改良構造雛型〔建築に関する出品物〕	〔出品者不明〕
667	明治初年来焼失戸数延長〔火災予防及消防に関する出品物〕	

災害防止展覧会の出品物および出品者一覧

668	満都大火の光景、安政江戸大地震火鳥瞰図〔火災予防及消防に関する出品物〕	
669	災難除迷信に関する各種〔迷信に関する出品物〕 一、小瓢箪（腰に下げると転ばず） 一、土製の鈴（木に吊さば虫を封ず） 一、七夕の札（雷除け） 一、てるてる人形（晴天を祈る） 一、十二月と書ける紙札（天井に貼れば老人が転ばぬ） 一、鎮西八郎為朝紙札（痘瘡除け） 一、子供の虫よけの守札 一、布製の猿児（脊守とせば丈夫になる） 一、薪のもえさし（晴天を祈る） 一、鮑の貝（門口に吊し小児の病除けとす） 一、大隸の玉（門口にさげて病難除けとす）。	
670	浅間山噴火図〔地震に関する出品物〕	

注

- 『日常生活災害防止法』は1919年5月7日印刷、同年5月10日発行、『災難は避けられる』は1919年5月15日印刷、同年5月21日発行、である（災害防止調査会 1919；培風館 1919）。
- 『日常生活災害防止法』所収の目録は網羅的ではないとはいえ、『災難は避けられる』には掲載されていない出品者の記載が僅かながら見られる。すなわち、「東京教育博物館」「東京帝国大学建築学教室」「建築文学」「森信吉」「竹内金庫店」「東京帝国大学図書館」「帝室博物館」「法学博士 村瀬春雄」「帝国飛行協会」「森永製菓株式会社」「北浦重之」「帝国大学探礦学教室」「医学博士 千葉真一」である（災害防止調査会 1919：203-210）。ただし、これは目録上の相違であって、実際の展示上の相違であるか否かは確認できない。
- ちなみに、読点による区切りで出品物の点数を数えた場合（ただし、読点の欠如および文章表現上の読点は除外）、884点となる。
- 出品者の数は、出品者不明を除外してある。
- 大阪商船株式会社は『災難は避けられる』では「大阪商船商船株式会社」とあるが（培風館 1919：38*）、誤植と判断して「大阪商船株式会社」と改めた。
- 『災難は避けられる』では、「太田大洋」（培風館 1919：118）と「太田天洋」（培風館 1919：58*）の2つの出品者表記があるが、「太田大洋」は「太田天洋」の誤植と考えられる。実際、『日常生活災害防止法』には、「京都御所炎上図其他 太田天洋」（災害防止調査会 1919：205）との記載があり、これは『災難は避けられる』における「各大区纏鑑錦絵、京都御所炎上地図」（培風館 1919：118）に対応していると推測できるためである。
- 順天堂耳鼻咽喉科の出品物として記載されている「直達鏡」は、その補足説明として「永島器械店製作及び出品」（培風館 1919：60）とあるので、永島器

械店の出品物としても別途記載した。

- 8 『災難は避けられる』に記載の「艦船宛暴風警報伝送系統」の説明として付されている系統図（培風館 1919：55*）は煩雑なため略した。
- 9 『災難は避けられる』は縦書きで記載しているため、原文では「右に同じ」（培風館 1919：115）となっている。
- 10 『災難は避けられる』は縦書きで記載しているため、原文では「右同」（培風館 1919：115）となっている。
- 11 同上。
- 12 「木津川沿岸の竹林写真」は、直前の「荒川筋洪水予報基礎方程式」の直後に小文字で記載されているが、内容から判断して、「木津川沿岸の竹林写真」は「荒川筋洪水予報基礎方程式」の補足説明ではなく、1つの出品物とした（培風館 1919：57*）。

文 献

- 災害防止調査会，1919，『日常生活災害防止法』南北社。
- 椎名仙卓，2002，『大正博物館秘話』論創社。
- 培風館，1919，『災難は避けられる——災害防止展覧会説明書』培風館。
- 宮崎惇，1992，棚橋源太郎先生伝記編集委員会編『棚橋源太郎——博物館にかけた生涯』岐阜県博物館友の会。